

① 長与町政に関する新聞報道について

このところ、長与町政について、いくつかの新聞報道がなされています。主なものとして以下のような記事が掲載されました。

1. 最低制限価格と同額落札が5件（2015年）。
2. 図書館建設の財源がない中、用地取得（2015年）。
3. 大雪警報、警戒本部設置の最中、町長、副町長が飲酒（2016年）。
4. 公共施設、スポーツ施設有料化に利用団体、町民反発（2017年）。
5. 学校給食米の納入をめぐるトラブル（2017年）。

このように、決して良いニュースとはいええない記事がここ数年間でこれだけ掲載されたのは例がないのではないかと思います。

新聞は「社会の木鐸」といわれ、公権力を監視する役割があります。そういう意味からも本町に対する厳しい記事については謙虚に受け止める必要があるのではないのでしょうか。

安倍内閣はこれまで高い支持率を維持してきましたが、おごりと思われる行為、そして明らかに失態と思われる行為を繰り返し、国民からの支持、信用が低下しました。

本町もこのままでは町外からのイメージ低下、町民からの信頼、信用が落ちていくのではないかと危惧するところです。実際、ある住民から、「最近、町は住民感覚から離れつつあるのではないか」という厳しい意見を伺いました。

議会も新聞と同じく執行機関に対する批判、監視、そして改善提案が大事な仕事であります。そこで新聞記事と関連する以下を質問します。

- (1) 官製談合や、関係者からの働きかけがあっているのではないかと疑われる事態を防ぐ方策は取られましたか。また、その効果はありますか。
- (2) 図書館建設の財源見通しはどうなっていますか。
- (3) 災害等の警報が発令した場合、町幹部の宴席と重なった場合どう対応しますか
- (4) 町の計画に対する町民への説明責任はどう考えていますか。
- (5) 給食米をめぐる行政の対応をどのように認識していますか。また改善すべきものがあると思いますか。